

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

下田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実績評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

区内でも広い面積と多くの人口を抱える日吉地区が対象圏域です。若い世代の転入が多く、慣れない土地で子育てに不安を感じる親も多いため、それに呼応するように地域の子育て支援の取り組みは活発です。

日吉地区全体としての動きと、下田包括エリアとしての動きの両面を把握しながら、継続した介護予防の取り組みが必要と考えます。

地域の担い手の高齢化、自治会等の役員の交代の変化に対応するかたちで、地域福祉保健計画、および、地域ケア連絡会・地域ケア会議・生活支援体制整備事業とさまざまな取り組みにおいて、引き続き地域と共に、課題を共有し、解決に向けて歩んでゆく必要があります。

- ・平成29年度もひとつプラン港北の地区計画の推進委、および、日吉地区「包括レベル地域ケア会議」を、地域の方々と関係諸機関・諸団体にとって解りやすいように、主催あるいは運営支援しました。
- ・日吉地区「包括レベル地域ケア会議」において提案し理解をいただいた各種取り組みを、計画的に展開し、「専門職と地域とのネットワーク構成」「地域に向けた認知症への理解の普及」「団塊の世代の地域デビュー」の具現化に向けた取り組みも行うことができました。
- ・「生活支援体制整備事業」については、研修等で学び、区・区社協と協働しながら、地域アセスメントの更新作業と目標の再設定を行いました。

(2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

単発事業等を行う際は「ケアプラザは相談ができる場所」として機能の周知を職員で徹底しました。また、定期的自主事業や貸館利用者と良好な関係を構築し、気軽に相談できる雰囲気づくりに努め、専門外の相談を受けた際には事務所内で共有し、できるだけ管轄の相談先を紹介することができました。

(3) 各事業の連携

毎月5職種による会議を行い、情報を共有し、事業開催へと展開することができました。具体的には、個別対応から包括が必要と感じている「認知症の方の居場所づくり」とコーディネーターによる「既存のボランティア団体の活性化」を目的に5職種が協働し、認知症カフェの試行実施ができました。なお、ボランティアとの協議により30年度の定期開催も決定しております。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

定例の内部および法人内会議を予定どおり実施し、自己研鑽、業務点検を行うことができました。

- ・ 欠員なく配置し、積極的に研修に派遣した。
- ・ 定例の内部および法人内会議を予定どおり実施し、自己研鑽、業務点検を行った。
- ・ 外部研修派遣 48件延68人

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

民生委員児童委員協議会および、地区社会福祉協議会のボランティア定例会には包括とコーディネーターの複数で参加し、個別および地域課題についてそれぞれ情報提供等を行うことができました。自治会には主にコーディネーターが参加し、プラザ事業への理解を深め、「日吉キッズステーション」で、地域で子育てをする保護者に対して現在どのような情報提供が必要かなど、情報を共有し、連携を深め、横浜労災病院との共催講座では託児協力を頂くことができました。

また、郵便局とも共催講座を実施し、ネットワークの拡大に努めました。

(6) 区行政との協働

ひっとプラン港北の日吉地区計画の推進に向けて区・区社協と連携しながら各町の「防災まち歩き」活動を支援しました。

また、「下田ふれあいまつり」や災害要援護者支援の取組みについて、地域の方が主体的に取り組むことができるよう適宜支援を行いました。さらに、保健活動推進委員会によるウォーキングが体力測定会に参加し、運営支援を行うことができました。

区子ども家庭支援課とは、パパの育児教室を実施。今年度は会場を「えんがわの家 よってこしもだ」とし、日中親子がいける場所として紹介することもできました。また、土曜両親教室の会場として運営に協力、さらに、これから親になる方にケアプラザの機能を紹介。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・高齢者の通いの場として「マロニエ」「すずらん」を継続して実施しました。マロニエでは給仕・話し相手としてのボランティアが、すずらんでは調理のボランティアが、それぞれ活躍されています。マロニエは参加者、ボランティア共に人数が減少したために専用のチラシを作成し、下田町の掲示板にて周知を行い、結果として参加者とボランティアの獲得につながりました。
- ・自治会のサロンにも包括部門と連携して、積極的に参加し、講師役を担いました。パパ向け講座を今年度も2回実施し、ケアプラザに初めて来館したパパも含め交流の場となりました。29年度は初めて会場を「えんがわの家よってこしもだ」に移し、パパたちに近所の遊び場を知ってもらうことができました。
- ・ケアプラザで活動されているそば打ち団体「日吉蕎麦の会」を講師役に、今年度も「親子そば打ち教室」を開催し、日頃ケアプラザを利用されない親子世代が参加されました。
- ・文化祭「ケアプラザへ行こう2017」ではイベントの一つに認知症サポーター養成講座を開き、日吉台西中学校演劇部による寸劇を昨年に続き出演いただきました。
- ・ケアプラザも加わった実行委員会形式で実施した「下田ふれあいまつり」では、調理室での調理や各部屋での健康測定を開催し職員も健康測定の係員として携わり、地域の方と交流の場となりました。また「ひっとプラン港北」の防災から福祉を考える、町歩きを行い横浜を中心に活動されているご当地ヒーローを呼び子ども達とケアプラザ周辺の消火栓と公衆電話を探しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

各登録団体の高齢化、人数減少に伴い広報紙による告知をしたほか、講座を開いた際にケアプラザからのお知らせとして団体の周知をしてまいりました。提供の場としてデイサービスやケアプラザの事業で行う高齢者サロンなどで披露頂くほか、イベントでの展示に協力頂くなど力をお借りしました。

また、貸館カレンダーの掲示、貸館予約会の運営とも計画どおり実施できました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・随時、新規ボランティアの問い合わせを受け、面談等を行い、地域人材を積極的に受け入れています。日吉地区社会福祉協議会ボランティア連絡会の定例会に参加して情報共有を行い、地域資源の確保に努めました。
- ・小学生によるデイサービスでの演技披露や中学生の職業体験への受け入れ、夏休みには高校生のボランティア受け入れを行いました。
- ・試験的に下田ケアプラザを会場に認知症カフェを開き、地域で活動されている「ボランティア下田」をはじめ一般のボランティアを募集し開催することができ30年度から定期開催する運びとなりました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 講座や事業等で来館された方にヒアリングを行い、地域のニーズの把握に努めました。
- ・ ケアプラザから離れた地域ほど来館者は少ないためイベント会場を別の場所に移して行いました。
- ・ 広報は広報紙やホームページをはじめ専用のチラシを自治会の掲示板やスーパー等で周知を行いました。また地元の大学生が発刊した地域情報誌をはじめインターネットを中心に情報を発信しているインターネット新聞とも情報を交換しました。
- ・ デイサービスで夏と冬のイベント期間での出演や、高齢者の食事会、お茶会に出演いただくこともできました。また施設内外の掃除や「親子そば打ち教室」の講師役など団体の特性、状況に合わせてコーディネートしました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

人口動向や包括が受けた相談の傾向をまとめたものを定例カンファレンスや包括会議の場で共有。改めて認知症の方の居場所の必要性を確認することができました。また、この1年間、自治会町内会等、様々な会合の場で整備事業の必要性等を周知することもできました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

包括が受けた相談の「原因」と「ニーズ」をデータベース化し、人口統計と照らし合わせて今後の事業実施の根拠をプラザ内で共有しました。また、様々な会合の場では、立地的に買い物や外出が困難な場所に住んでいる方の生活の工夫や団体としての支援の方策等を聞き取り調査することもでき、今後の支援方法に活かしていきます。

(3) 連携・協議の場

日吉地区社会福祉協議会のボランティア連絡会の場で各団体の課題等を共有、新たな人材発掘の必要性について協議しました。また、個別のボランティア団体にヒアリングを実施。そこで、団体の活性化を目標に「認知症カフェ」の運営について話合いが行われ、試行開催することができました。次年度に向けた、定期開催へ結びつけることもできました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

区域のコーディネーター連絡会に参加し、移動に関する課題を共有。区内の生活支援ボランティア団体との交流を通じ、組織運営の課題や担い手づくりについて協議することができました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

例年同様、民児協・ボランティア会・老人会（友愛）・保活の定例会等へ参加し、連携関係の構築に努めています。「地域ケア連絡会」の活動を支援し、さらに幅広い自治会町内会・NPOや任意団体とも関係を深め、顔の見える関係作りに努めました。

・2地区の民児協やボランティア会の各定例会への参加

（民児協各11回、ボランティア会11回参加）

「港北区高齢者支援ネットワーク」の活動を通じて、介護・医療・行政の連携推進に向けた取り組みを行いました。今年度は「在宅医療と介護」に関連するテーマで一般市民向け研修会や医療・福祉・行政関係者への研修会を実施。

・高齢者支援ネットワークへの参加

（世話人会10回 研修会2回 市民向け研修会1回実施）

港北区事業所連絡会「ガンバ港北」とも連携を継続し、合同研修を行いました。また、地域のケアマネジャー向けに制度に関する勉強会や、横浜労災病院と共催で、ストレスマネジメントに関する講習会等を行い、今後の連携強化に努めました。

② 実態把握

区内ケアプラザ共同で「インフォーマルサービス」や「通所事業所アピールシート」等を更新して発行し、現況の把握、情報提供等を行いました。

総合相談をデータベース入力し、相談データの作成は継続していきました。内容や地域特性を分析し、今後の資源開発等に生かしていく準備を進めました。

また例年どおり、「ひとり暮らし高齢者見守り事業」では、区・民生委員と連携し、地域の高齢者の把握を行いました。また、2地区の民児協の定例会（延べ年22回）への参加することで、相談データとの情報整合性を確認することもでき、地域から幅広く情報収集していくことに役立ちました。

③ 総合相談支援

高齢者やその家族、関係者などから、介護保険申請やサービス調整、成年後見制度や地域インフォーマルサービスなどのニーズに合わせた情報提供といった多岐に渡り相談を受けました。相談票や記録を職員間で共有することで、常に対応できる体制を作りました。相談件数1,939件（4～3月前年同期比360件増）

区職員との定例カンファレンスで、区とも連携しながら、対応困難ケースには適切なフォローを行いました。地域の民児協の定例会には毎回、包括職員が参加し、認知症高齢者の支援や高齢者の孤立防止について協力し、地域ケア会議に繋げることで支援のネットワークを構築しています。

また、知的・身体・精神の各障害について、生活支援センターや基幹相談センターともケアカンファレンスで連携を強化することで、多問題を抱える相談内容に柔軟に対応しました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

虐待防止事業における研修に積極的に参加することで、制度や権利擁護の視点を持って家族やケアマネジャーからの相談に柔軟に対応しました。

成年後見の区長申し立てに関しては、区職員と協働しながら本人や家族の意志を尊重しながら進めています。成年後見制度を地域により周知するために、関連したテーマでの講座を開催し、老後の意思決定支援として2月に地域向けの講座を開催しました。

3月には区域の行政書士会と協働し、「成年後見啓発事業」として個別相談会を開催しました。エンディングノート、遺言に関する講座の開催 2回 及び 地域マンションサロンでの普及啓発講座 1回

また、区主催のサポートネットに参加し、各専門職とも連携を強化し相談対応での質を上げることに繋がりました。

養護者支援の一環として「介護者のつどい」を毎月開催しました。虐待の早期発見や家族の支援に繋がっています。

消費者被害防止に関しては、区内で頻発している葬儀の業者による高額請求詐欺を未然にふせぐ目的で、講座を開催しました。地域での会合や専門職間で上がってきた被害の情報に合わせて、必要に応じて対応や消費者生活相談センターへの相談を勧める等対応を行っています。

更に、支援者向けの講座を開催 ・地域のサロンでの出張講座を開催し、ケアマネジャー向け成年後見カンファレンス 1回 開催しました。

② 高齢者虐待への対応

相談者が安心して相談・通報できるように、掲示板や虐待防止パンフレットで啓発を行いました。

地域のケアマネジャーにハンドブックの活用を勧めることで、虐待の早期発見やリスク把握ができるように支援しています。

相談対応については、区と支援の方向性を確認しながら対応しました。必要があれば同行訪問やカンファレンスを開催し、適切な支援に結び付けられるよう連携しています。

養護者支援の観点から実施している「介護者のつどい」では、8回開催 介護者20名参加し、年間で定期開催、ほか情報提供のため講座を随時開催しました。

虐待の早期発見や家族支援に繋がった事例もあり、要望を受けて、介護者の負担軽減・介護に関する知識の普及のための取り組みを行いました。具体的には、総合相談の中で「食事づくりの負担」を聞くことが多くあり、にもかかわらず配食を勧めてもほとんどの方が消極的であることに着目し、まずは「つどい」の参加者を対象に、配食事業所による「栄養の説明と弁当の試食」を実施しました。加えて、2月に排泄知識の普及や介護施設の情報提供を目的とした講座として「介護者教室」を年2回開催しました。

また、地区の介護サービス事業所向けに、他ケアプラザと協働し、通所事業者向けハンドブック研修を実施しました。

③ 認知症

- ・ 認知症についての説明と早期発見・対処の必要性などの、認知症の正しい理解や支え方などをケアプラザの協力医を講師に迎え認知症の講座を開催しました。
- ・ 昨年に引き続き、サポーター養成講座の1回を日吉台西中学校演劇部とともに開催しました。今年の演劇部は“認知症の寸劇”を上演するに当たり、事前にデイサービスでボランティアを行い、高齢者の理解やスタッフの対応の仕方などを学習しました。急な依頼にもデイサービスのスタッフが快く対応してくれたことで、当日はよりリアルな演技になっていました。また、当事者世代だけでなく若い世代の参加も多く、様々な世代へ認知症の理解が進むことで、地域で支える仕組み作りができるのではないかと考えます。
- ・ 来年度は、日吉台西中学校の演劇部の寸劇が、地区社協が開催する福祉実践活動発表会で上演する事が検討されるなど、認知症の理解が少しずつですが広がっています。
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催や開催支援（認知症サポーター養成講座 4回）
- ・ 「認知症カフェ」の開催による当事者の居場所づくり（「認知症カフェ」 2回）
- ・ 区域でのキャラバンメイトの交流会に参加（他地域のキャラバンメイトとの情報交換や活動支援 3回）

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域の会合やイベントに、地域交流、生活支援・包括担当で連携して参加し、制度や事業の説明や紹介、生活に関する講座等を行いました。

- ・ 地域の関係団体からの要望に応じて制度や介護予防体操等のミニ講座を実施。
- ・ 地区民児協、地区のサロンに参加（延べ22回）
- ・ 地域のケアマネジャー向けに制度の勉強会や意見交換、横浜労災病院と共催でストレスマネジメントの講演会等行った。
- ・ 総合事業勉強会（7/25）
- ・ ストレスマネジメント研修（2/22）

区内包括合同で、インフォーマル情報、MSWアピールシート、通所事業所アピールシート、訪問看護ステーションアピールシートを更新し、配布し情報提供に努めることができました。

PRボックス：医院等に配架8回更新

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 区内包括合同で、「港北区高齢者支援ネットワーク」に参加し、「在宅医療に関する」テーマで区民公開講座や口腔ケア、薬に関する研修会を行った。
- ・ 港北区高齢者支援ネットワーク 世話人会10回 公開講座1回 研修会1回
- ・ 地域のケアマネジャーからの医療的相談に対応するため、毎月1～2回ケアプラザ協力医による「医療連携相事業」を実施。
- ・ 医療連携支援事業 10回実施
- ・ 地域ケア会議
個別レベル1回（8/30）個別レベル地域ケア会議第2回（1/29）実施し、在宅医療相談室より地域ケア会議に医療的立場で参加していただくことができました。

③ ケアマネジャー支援

- ・地域のケアマネジャーからの相談対応を随時行い、また必要に応じて、支援困難事例への対応等で区地区担当と相談対応や同行訪問、カンファレンス等を行いました。
- ・介護予防・介護予防ケアマネジメントを委託しているケアマネジャーによるサービス担当者会議にも随時参加。
- ・区内地域包括支援センター合同で、「インフォーマルサービス情報」「通所事業所アピールシート」を再編集・発行し、制度情報のみではなく、地域情報の収集・提供も行うことができました。
- ・ケアマネジャー向けに、「地域ケアカンファレンス」を区内地域包括支援センター合同で6・10・1・3月に開催。
MSWとの懇談会実施
- ・ケアプラザでも地域のケアマネジャー向けに勉強会等を行った。
地域のケアマネジャー向け総合事業勉強会実施
地域のケアマネジャー向けに横浜労災病院と共催でストレスマネジメント勉強会を実施。
- ・経験年数1年未満のケアマネジャーを対象とした「新任ケアマネジャー研修会・懇談会」は区内包括支援センター合同で1回行いました。今年度より、地域の主任ケアマネジャー向け懇談会や勉強会を行い、連携強化に努めた。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

「港北区高齢者支援ネットワーク」や「ガンバ港北」において構築してきた地域包括ネットワークを引き続き継続しました。

医療機関やサービス事業所とは、通常の相談業務の中や、2回の「個別ケース地域ケア会議」においては、さらに民生委員の方も加わりながら、ケース検討等を行う。また、「包括レベル地域ケア会議」では取組ごとに3つの分科会に分かれ、それぞれ1回以上会議・研修等を行い、活動報告を全体会として3月に実施しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

本人の持っている力を自分で自覚できるよう「頑張っている事」「出来ている事」「したい事」を、意識して聞くよう努めました。また、本人の望む生活はどのような事か、今の生活をどのようにとらえているか、介護保険のサービスだけでなく、友人の訪問や近所への行き来も日常生活には必要な事であること（インフォーマルサービス）などを、一緒に確認しながら計画票を作っています。また、本人が目標を理解しやすいような言葉での記載を心掛けています。

委託先の担当者会議は出来る限り出席し、その時の状況を記録に残し包括の皆で共有をしています。計画票や評価表のコメントを記入するとき、サービスを利用して何か変わった事があるか、目標に向かい頑張っているかなどを確認しながら、目標を達成できるよう支援するため、必要に応じて事業者への助言、アドバイス、事例検討等を開催した時に基礎を学んでもらっています。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

ケアプラザ・町内会館・地域の居場所（「えんがわの家」）を利用して、ロコモ予防教室を開催。また、教室や講座を企画する時は、地域交流や生活支援コーディネーター、ケアマネジャーと情報交換をし、地域に住んでいる方々の状態や、地域に望まれている事業を把握。講師については地域の介護予防事業所や企業の講師協力も得て、魅力ある講座を心掛けた。

地域のマンション単位での茶話会では、ロコモ予防や口腔ケア・栄養の摂り方などの介護予防に必要な情報の提供をしながら、運営が継続できるように支援している。また、認知症の方の集える場所づくり（認知症カフェ）は、来年度からは定期開催。

来年度にむけて、自治会や老人会などと連携を取りながら、地域の中で介護予防の取り組みが広がるような仕掛けづくりや、予防サークルの方たちの機能低下も見られている事への支援を検討予定。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設の保守管理および環境維持を定期的・日常的に実施し、公共の財産を良好な状態に維持するよう、適切な管理に努めました。また、建築物・設備の破損・汚損に対する予防保全に努め、破損・汚損を発見した場合は速やかに回復または保全の措置を行いました。なお、建築設備・電気設備等の定期点検を予定どおり実施しました。

(2) 効率的な運営への取組について

業務を不断に見直すことで、ムリ・ムラ・ムダを省いて運営を進めました。その他経費節減のため、業務委託契約等について、規程に基づき、見積り合わせや入札の実施を徹底しました。

年度末に、電力会社との契約を見直し、さらなる経費削減に向けた取り組みも行うことができました。

(3) 苦情受付体制について

法人に苦情解決調整委員会およびその第三者委員が設置されているので、体制としては整っています。要望・意見等に対し適切に対応するとともに、部門ごとの利用者アンケート等を通じ、利用者の要望等を汲み上げ、より良い施設運営に活かせるよう努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯・防災、その他緊急事態対処のため、マニュアル・チェックリスト等を活用するとともに、定例の内部会議等で随時職員を指導し、意識の喚起と有事の際の迅速な行動に移れるよう努めました。

防災訓練を4回実施しました。また、防災備蓄のチェックと入れ換え等を必要に応じて行いました。

(5) 事故防止への取組について

日々、ヒヤリハットも含めて職員間で情報を共有し、月例の部門別会議や事故防止委員会で復習・対策検討するなどして、事故の再発防止に努めました。

発生した事故については基準に基づいて、速やかに区・市当局に報告しております。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報漏洩を起こさない業務手順・体制を定め、実践しています。手順等を見直すとともに、内部の諸会議等の機会を活用して、全職員を対象に研修を実施し、意識啓発に努めました。

(7) 情報公開への取組について

法人・施設広報紙や、運営協議会において、地域への情報公開に努めました。また、介護サービス情報の公表、事業報告・計画の区役所ホームページでの公表等、所定の制度に対応しました。

(8) 人権啓発への取組について

指定管理者のとしての公正・中立性、また、福祉に携わる者としての人権意識を高め維持するため、法人倫理規程その他の方針・指針、「利用者アンケート」等を活用し、内部研修を行いました。また、随時ミーティングや事例検討（ケースに関する情報交換を含む）の場を通じて、自らの姿勢の振り返りの機会としました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市のごみ減量化・資源化の取り組みに積極的に対応しました。省エネルギーに関しても、当施設の建物に既設の夜間電力利用や熱交換のシステム、センサー水栓等を適切に活用しました。また、ボランティアの協力の下、日々、施設緑化に取り組みました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師 1
社会福祉士 1
主任ケアマネジャー 1
ケアマネジャー 2（非常勤2）

《目標に対する成果等》

サービス利用者と共に、ご本人の「出来ていること」「したいこと」を確認しながら、目標達成に向け声かけや担当スタッフと連携を行い支援しました。また、いつまでも住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、ご本人に適した具体的な情報提供をするよう心がけました。支援計画票は、本人が目標を理解しやすいような言葉での記載を心がけました。介護保険だけではなく、友人の訪問や近所への行き来なども日常生活には必要な事であることを、一緒に確認しながら、目標達成が出来るよう支援しました。介護保険だけではなく、日常生活に楽しみが増え、地域とも交流が持てるイベントや講座を開催し生活が充実できるように、地域やケアプラザの活動内容の情報提供を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防支援業務専従のケアマネジャーが、他の職種と連携を取りながら、中心になって進めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
216	216	220	215	212	217
10月	11月	12月	1月	2月	3月
220	222	222	224	220	221

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 3人（常勤専従2・常勤兼務1）

《目標に対する成果等》

利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総合的かつ効率的に提供するための連絡調整を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センターと連携して、要支援・要介護一貫したケアマネジメントに取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
96	109	100	100	96	103
10月	11月	12月	1月	2月	3月
99	100	102	102	103	101

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護
- 送迎・入浴・食事・レクリエーション・リハビリ等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（サービス提供体制加算Ⅱ・中重度者ケア体制加算を含む）

（要介護1）	758円／回
（要介護2）	886
（要介護3）	1018
（要介護4）	1150
（要介護5）	1281

- 認知症加算1割負担分 65円／回

- 入浴加算1割負担分 54円／回

（2割負担のご利用者からは倍額いただきました）

- 介護職員処遇改善加算 総額の2.2%

- 食費負担 750円／食

- 通常の事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費

越えて1km（道程）まで片道	100円
2kmまで	200円
4kmまで	300円
4km超	400円

- 特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきました。

-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:15～16:20

《職員体制》

生活相談員兼介護職員	5人	看護職員	5人
介護職員	16人	運転手	7人

《目標（取組、達成状況）》

利用者が自立した日常生活を営むことおよび利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施しました。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

和やかでのんびりした雰囲気作りに努めました。季節の行事や、寿司バイキング・松花堂弁当等の特別メニューをご提供しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
664	709	678	682	640	600
10月	11月	12月	1月	2月	3月
585	621	585	553	559	658

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護
- 送迎・入浴・食事・レクリエーション・リハビリ等

- 基本料1割負担分（サービス提供体制加算Ⅱを含む）
 - （要支援1） 1792円/月
 - （要支援2） 3672
- 運動器機能向上加算1割負担分 242円/月
（2割負担のご利用者からは倍額いただきました）
- 介護職員処遇改善加算 総額の2.2%
- 食費負担 750円/食
- 通常の事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費

越えて1km（道程）まで片道	100円
2kmまで	200円
4kmまで	300円
4km超	400円

- 特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきました。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:15～16:20

《職員体制》

生活相談員兼介護職員 5人 看護職員 4人
介護職員 19人 運転手 7人

《目標（取組、達成状況）》

利用者が自立した日常生活を営むことおよび利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

運動器機能向上プログラム（加算）を実施しました。

和やかでのんびりした雰囲気作りに努めました。季節の行事や、寿司バイキング・松花堂弁当等の特別メニューをご提供しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
53	53	48	45	42	49
10月	11月	12月	1月	2月	3月
51	55	64	56	69	47

平成29年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,626,091	21,925	15,648,016	15,648,016	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	252,900	252,900	事業参加費徴収分 食事代食事代徴収等
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	19,479	19,479	
印刷代	0		0	16,262	16,262	コピー代
自動販売機手数料	0		0	2,892	2,892	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	325	325	公衆電話使用料
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	805,569		805,569	805,569	0	
収入合計	20,019,160	21,925	20,041,085	20,313,464	272,379	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,227,000	0	11,227,000	9,505,175	1,721,825	
本俸	7,387,000		7,387,000	6,504,092	882,908	常勤 非常勤 本俸
社会保険料	1,000,000		1,000,000	842,979	157,021	社会保険料
手当計	2,500,000		2,500,000	1,881,842	618,158	期末手当 超過勤務手当 通勤手当 調整手当
健康診断費	40,000		40,000	38,317	1,683	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	79,898	20,102	退職給付引当金
その他	200,000		200,000	158,047	41,953	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,270,000	0	1,270,000	1,236,657	33,343	
旅費	40,000		40,000	33,350	6,650	市内出張等交通費
消耗品費	100,000		100,000	95,790	4,210	コピー代 文房具他
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	20,000		20,000	16,094	3,906	年賀状 封筒印刷
通信費	180,000		180,000	174,187	5,813	電話代 切手代等
使用料及び賃借料	149,600	0	149,600	142,787	6,813	
横浜市への支払分	9,600		9,600	9,600	0	自動販売機目的外使用手数料
その他	140,000		140,000	133,187	6,813	レンタルマット AEDレンタル
備品購入費	510,000		510,000	518,304	8,304	扇風機他購入 コピー機他 10万以上リース
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	48,821	1,179	総合賠償責任保険 指定管理者責任保険等
職員等研修費	8,000		8,000	7,750	250	研修参加費
振込手数料	10,000		10,000	9,395	605	給与振込み手数料他
リース料	0		0	0	0	
手数料	800		800	579	221	残高証明手数料他
地域協力費	3,600		3,600	3,600	0	自治会費
その他	198,000		198,000	186,000	12,000	燃料費 社労士顧問料 自動車保険料 ピアノ調律代他
事業費	470,000	0	470,000	572,019	102,019	
運営協議会経費	42,000		42,000	11,329	30,671	予算:指定額
指定管理料充当 事業	428,000		428,000	560,690	132,690	ミニデイ 食事会 親子学級 パパの育児講座 他
管理費	6,154,000	203,726	6,357,726	6,178,135	179,591	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	3,424,000	0	3,424,000	3,400,751	23,249	
電気料金	1,124,000		1,124,000	1,062,968	61,032	
ガス料金	800,000		800,000	776,083	23,917	
水道料金	1,500,000		1,500,000	1,561,700	61,700	
清掃費	1,450,000		1,450,000	1,449,159	841	貸館日常清掃 定期清掃
修繕費	474,000	203,726	677,726	522,239	155,487	予算:指定額 掲示板 冷却塔 排煙窓等修理
機械警備費	120,000		120,000	120,404	404	機械警備
設備保全費	446,000	0	446,000	446,587	587	
空調衛生設備保守	104,000		104,000	103,971	29	空調設備 冷温水発生器保守清掃 レジオネラ菌検査
消防設備保守	48,000		48,000	47,780	220	消防設備保守点検
電気設備保守	72,000		72,000	72,689	689	電気設備保守 年次点検
害虫駆除清掃保守	16,000		16,000	15,739	261	殺虫消毒
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	206,000		206,000	206,408	408	自動ドア 施設設備 エレベーター保守
共益費	0		0	0	0	
その他	240,000		240,000	238,995	1,005	植栽剪定 ゴミゼロルート回収
公租公課	898,160	0	898,160	760,414	137,746	
事業所税			0		0	
消費税	898,160		898,160	760,414	137,746	職員人件費に係る消費税
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	20,019,160	203,726	20,222,886	18,252,400	1,970,486	
差引	0	181,801	181,801	2,061,064	2,242,865	

自主事業費収入	428,000		428,000	0	428,000	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	428,000		428,000	560,690	132,690	
自主事業収支	0	0	0	560,690	560,690	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	2,892	2,892	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	9,600	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	6,708	6,708	

平成29年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,181,000	405,331	22,775,669	22,775,669	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	61,500	61,500	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	19,478	19,478	
印刷代	0		0	16,261	16,261	
自動販売機手数料	0		0	2,892	2,892	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充充分)	0		0	325	325	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,486,500		1,486,500	1,486,500	0	
収入合計	30,607,500	405,331	30,202,169	30,283,147	80,978	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,644,000	0	26,644,000	25,138,291	1,505,709	
本俸	13,880,000		13,880,000	13,041,275	838,725	職員 非常勤職員 本俸
社会保険料	3,500,000		3,500,000	3,341,107	158,893	社会保険料
手当計	8,500,000		8,500,000	8,041,585	458,415	期末手当 超過勤務手当 通勤手当 調整手当
健康診断費	44,000		44,000	33,053	10,947	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	380,142	19,858	
その他	320,000		320,000	301,129	18,871	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,200,000	0	1,200,000	1,147,473	52,527	
旅費	70,000		70,000	62,860	7,140	市内出張等交通費
消耗品費	90,000		90,000	82,838	7,162	コピー用紙 文房具等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	10,000		10,000	5,589	4,411	封筒印刷代
通信費	210,000		210,000	195,815	14,185	電話代等
使用料及び賃借料	39,600	0	39,600	37,225	2,375	
横浜市への支払分	9,600		9,600	9,600	0	自動販売機目的外使用料
その他	30,000		30,000	27,625	2,375	会計ソフト
備品購入費	0		0	324,530	324,530	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	48,820	1,180	総合賠償責任保険 指定管理者責任保険
職員等研修費	28,000		28,000	26,590	1,410	研修参加交通費
振込手数料	12,000		12,000	11,499	501	給与振込み手数料等
リース料	0		0	0	0	
手数料	400		400	324	76	残高証明手数料
地域協力費	0		0	0	0	
その他	690,000		690,000	351,383	338,617	燃料費 社労士顧問料 自転車修理 10万以上
事業費	1,127,500	0	1,127,500	606,799	520,701	
協力医	630,000		630,000	273,000	357,000	予算:指定額
指定管理料充自主事業(包括)	37,500		37,500	56,804	19,304	
指定管理料充自主事業(介護予防)	151,000		151,000	216,793	65,793	予算:指定額
指定管理料充自主事業(生活支援)	309,000		309,000	60,202	248,798	予算:指定額
管理費	1,636,000	0	1,636,000	1,581,127	54,873	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	860,000	0	860,000	903,997	43,997	
電気料金	260,000		260,000	282,642	22,642	
ガス料金	200,000		200,000	206,358	6,358	
水道料金	400,000		400,000	414,997	14,997	
清掃費	400,000		400,000	385,218	14,782	貸館日常清掃 定期清掃
修繕費	126,000		126,000	77,669	48,331	予算:指定額 掲示板 冷却塔 排煙窓等修理
機械警備費	40,000		40,000	32,006	7,994	機械警備
設備保全費	130,000	0	130,000	118,707	11,293	
空調衛生設備保守	30,000		30,000	27,635	2,365	空調設備 冷温水発生器保守清掃 レンゾイフ園 検本
消防設備保守	15,000		15,000	12,700	2,300	消防設備保守点検
電気設備保守	20,000		20,000	19,322	678	電気設備保守 年次点検
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	4,183	817	殺虫消毒
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	60,000		60,000	54,867	5,133	自動ドア 施設設備 エレベーター保守点検
共益費	0		0	0	0	
その他	80,000		80,000	63,530	16,470	植栽剪定 ゴミゼロルート回収
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当施設設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	30,607,500	0	30,607,500	28,473,690	2,133,810	
差引	0	405,331	405,331	1,809,457	2,214,788	

自主事業費収入	497,500		497,500	61,500	436,000	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	497,500		497,500	333,799	163,701	
自主事業収支	0		0	272,299	272,299	⇒自主事業(指定管理料充自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			2,892		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			6,708		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市下田地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	5865	16392	72011
その他		7076	83	16751	739
介護予防ケアマネジメント 費		7076			
利用者負担金				9225	292
利用者食事代				5546	447
認定調査			83		
利用者他食事代収入				1980	
	収入合計(A)	12941	16475	88762	3504
支出	人件費	3989	15864		73750
	事務費	141	1678		5418
	事業費		61		8391
	管理費				10912
	その他	4495	0		2758
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン他事業所 委託料	4495			
	減価償却費				66
	利用者等他給食費				2692
	支出合計(B)	8625	17603		101229
収支 (A) - (B)		4316	-1128		-8963

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
心の健康を考える講座	【対象者】 地域全般 【目的】 生活支援センターと共催。参加された方が「おはなしもだ」への参加のきっかけになることも期待している。 【実施内容等】 うつや統合失調症という、いわゆる精神疾患の理解を深める講座。	春・秋

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり 「ケアプラザへ行こう 2017」	【対象者】 地域全般 【目的】 地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知するとともに、貸館利用団体およびデイサービスご利用者の作品・演技披露の場を提供し、交流を促す。 【実施内容等】 貸館団体による作品展示、演奏披露、中学生による認知症をテーマにした寸劇など	11月18日・19日 (土・日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音の波言の葉 音楽と朗読の コンサート	【対象者】 地域全般 【目的】 多くの世代の方に参加して同じく感動できる場を設定する。 【実施内容等】 音楽と朗読のコラボレーションという魅力的かつ定例のコンサート。	2/18 (日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自立高齢者 ミニデイサービス「喫茶マロニエ亭」	【対象者】 地域の高齢者（要介護認定「非該当」～「要支援」程度を想定） 【目的】 社会性を保つ為の外出先を確保すると共に、身近な健康チェックの場を提供する。ボランティアと共に運営。 【実施内容等】 喫茶サロン。その中で血圧測定、NHK「みんなの体操」を実施。年に数回は貸館団体等の披露もある。	第1・3水 全20回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者食事会 「お食事処 すずらん」	【対象者】 地域の独居高齢者 【目的】 社会性を保つ為の外出先を確保すると共に、バランスの良い食事を提供する。ボランティアと共に運営。 【実施内容等】 食事の提供	第1火 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン 「すてっぷ」	【対象者】 子育て経験の浅い親とその子たち 【目的】 子育ての先輩ボランティアを中心に子供を遊ばせながら、情報交換のできるスペースを提供するとともに、子育ての知恵を獲得する機会とする。 【実施内容等】 10:00～11:30の時間の中で自由に利用できる。	第2・4金 全17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子学級 「イルカ」	【対象者】 平成29年度中に3歳および4歳になる未就園児 【目的】 同一年度に出生した子とその親を対象に、親子の触れ合い・スキンシップを育むため、親子交流・あそびを学ぶ機会を提供する。 親子学級支援者「ポケット」との共催。 【実施内容等】 各回ごとにテーマを設け工作や運動会などを実施。	8～2月 全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のソバ打ち 体験教室	【対象者】 小学生とその親 【目的】 ケアプラザを利用する機会が少ない、小学生とその親を対象。元気シニア教室から自主化した団体が講師役となり、地域貢献を実践できる場を提供する。 【実施内容等】 そば打ちサークルが講師役として開催するソバ打ち、試食。	9月23日(土)

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパの育児教室	<p>【対象者】 ①乳幼児のパパ ②第1子の0歳児とパパとママ</p> <p>【目的】 子育てに不安を抱いているパパと、パパに子育てに参加してほしいと思っているママを対象とする子育て支援事業。子供と一緒に遊びながら、家族どうしが情報交換し、遊び方を学ぶことができる場を提供する。区役所と共催。</p> <p>【実施内容等】①佳久こどもクリニックの佳久院長を講師に緊急時の対応について ②パパとママが分かれてのプログラムを実施。パパは子育て支援者から手遊び等のレクチャー、ママは工作を実施。</p>	11月26日(日)・ 1月21日(日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬休み書初め練習教室	<p>【対象者】 小学生～中学生</p> <p>【目的】 地域ケアプラザが高齢者だけの施設でないことを周知すると共に、学校の長期休暇を利用し、参加する子どもどうしが交流を持ちながら宿題に取り組む場を提供する。</p> <p>【実施内容等】ケアプラザで活動されている書道の団体をはじめ地域のボランティアを講師に宿題の書初めを行う。</p>	12月27日(水)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障がい児夏休み生活支援「こうほくなつとも2017」	<p>【対象者】 学齢期の障がい児(小中学生)</p> <p>【目的】 学齢期の障がい児に、夏休みの活動の機会や場、ボランティアとの交流を、身近な地域で提供する。区役所・区内地域活動ホームと共催。</p> <p>【実施内容等】室内でのレクレーションや外出プログラムの実施。</p>	①7月31日・8月1日(日吉本町) ②8月7日・8日(下田)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほくからふる2017	<p>【対象者】 学齢期の障がい児(小学生～高校生)</p> <p>【目的】 学齢期の障がい児に、長期休みの活動の機会や場、ボランティアとの交流を、身近な地域で提供する。港北区地域ケアプラザ6館での共催。小学生・中学生・高校生版と3回実施。</p> <p>【実施内容等】 横浜周辺の施設等に外出</p>	①9月16日(土)中学生 ②12月10日(日)高校生 ③2月11日(日)小学生

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン おはなしもだ	【対象者】 【目的】 心の病を抱えている本人とその家族が気軽に集え、同じ立場の方やボランティアの方々とお話ができる場（サロン）を定期開催する。 生活支援センターと共催。 【実施内容等】 生活支援センターの職員さんが毎回テーマを出し気軽に話ができる場を提供	奇数月の第三木曜日全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 派遣・支援	【対象者】 ボランティア希望者 【目的】 下田地域ケアプラザ各種事業へのボランティア派遣をコーディネートすると共に、ボランティア活動の支援を行う。 【実施内容等】 デイサービス、園芸、喫茶マロニエ亭などへの紹介	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸ボランティア 活動支援	【対象者】 園芸ボランティア 【目的】 下田地域ケアプラザ敷地内にあるプランターを手入れして下さる園芸ボランティアに対して必要な道具等の整備やミーティングを提供し、円滑に活動できるよう支援する。 【実施内容等】 ミーティングの実施。園芸用品の購入など	随時。全体ミーティングとして毎月第2金曜日に開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 懇談会	【対象者】 下田ケアプラザで活動されているボランティアさん 【目的】 下田地域ケアプラザ各種事業で活動して下さっているボランティアさんたちと、日々の活動で感じる喜びや疑問・不安などを話し合う機会を設定し、ボランティア間で共有するとともに各事業担当者への貴重な意見として伺う。 【実施内容等】 グループワークなど	3月27日（火）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「子どもの成長と発達」講演会	【対象者】 地域全般 【目的】 子どもの成長および発達について他者に相談出来ず不安に感じている保護者に適切な情報を提供し、必要に応じて専門機関に相談できるきっかけをつくる。 【実施内容等】 横浜労災病院こどもセンター長による講演。・成長曲線について・発達障害について・夜尿症について など	3月15日(木)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セカンドライフフォローアップ	【対象者】 50～70代の地域住民 【目的】 定年後のセカンドライフを充実させる。 地域での仲間づくり 【実施内容等】 ①セカンドライフ用名刺作成・グループワーク ②認知症予防～コグニサイズ・グループワーク	5/27(土) 6/17(土) 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セカンドライフカレッジ	【対象者】 70歳までの日吉地区に住む男性 【目的】 これから定年を迎える(迎えた)男性が健康を保ち、自宅に閉じこもることなく充実した生活を送ってもらう事。 【実施内容等】 30年度実施に向けた施設使用の予約	平成30年4月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日吉地区介護事業者ハンドブック研修	【対象者】 日吉地区における通所介護事業者 【目的】 虐待防止におけるハンドブックの活用法を周知する。 【実施内容等】 ハンドブックに沿いながら説明をしていき、虐待の疑いがある場合の対応として、ミニワークを通じて研修を行った。	平成29年6月 1回

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士による 成年後見相談会	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 成年後見制度利用に際して、制度概要や助言等を専門家と無料にて直接相談できる。</p> <p>【実施内容等】 後見申立を検討中の方が3名いらして、個々からの相談を承った。</p>	平成29年7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老後の生き方講座	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 老後に関する「エンディングノート」と「遺言」の2テーマで、高齢期への知識を深める</p> <p>【実施内容等】 第1回のエンディングノートでは、鈴木行政書士が担当し、第2回の遺言では、高橋行政書士が担当し、それぞれ講座終了後、個々に質問も殺到した。</p>	平成29年8月 平成29年10月 各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域カンファレンス 成年後見制度の 使い方	<p>【対象者】 日吉地区CM</p> <p>【目的】 日吉地区のCM向けに、後見人との関わりや制度に対する理解を深める。</p> <p>【実施内容等】 後見人の役割及びCMの関わり方、後見人申立て制度概要、その費用についての案内。</p>	平成29年9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日本郵便 相続の基本と対 策セミナー	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 身近な金融機関である郵便局の職員から、わかりやすい相続の解説をしてもらう。</p> <p>【実施内容等】 二部構成となっており、第一部は役に立つ委任状の書き方。第二部は相続の基礎知識と不動産の分割対策。</p>	平成30年1月 1回

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スリーA支援者養成講座及び、スリーAスマイルシャワーの会	<p>【対象者】 地域の方、認知症を学びたい方など</p> <p>【目的】 スリーA方式脳活性化ゲームを通して、認知症やMC Iの方の「生きがい」「やる気」を引き出す手法を学び、居場所づくりを作るための支援者の育成。</p> <p>【実施内容等】 養成講座の参加者から居場所づくりの協力者を募り、6月からスマイルシャワーの会を開催。毎回、様々な脳の活性化ゲームを楽しみ、その後はささやかな「茶話会」を開催している。</p>	スリーA養成講座（平成29年4月13日・27日・5月11日の全3回）スマイルシャワーの会（6月から月1回：9回実施）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防セミナー2017：そこが知りたい認知症	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 介護予防の必要性や介護予防事業の周知をケアプラザの協力医とともに実施。</p> <p>【実施内容等】 毎年、恒例の介護予防セミナー：今年は担当エリアでの相談が多くなっている「認知症」について講義。認知症の正しい理解や早期受診の必要性、対応についての講義の後には、脳活性化ゲームを行い皆で楽しんだ。</p>	平成29年4月20日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
下田元気塾@月いち体操（からの会）	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 1年を通して、いつからでも誰もが参加できるような体操教室（ロコモ予防を中心に栄養・口腔ケアなど）を実施。</p> <p>【実施内容等】 継続の必要性が高い参加者（認知症、MC I、うつなど）が多く、月1回でも継続することで、筋力の維持・向上ができることを体力測定で確認できたことや、相談者の外出のきっかけ作りとして開催。1年を通して、ロコモ予防・高齢者に必要な食事・口腔ケア・認知症予防等を行った。</p>	第2土曜日・全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
下田元気塾@スクエア・ステップ	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 「介護予防」「認知機能低下予防」「転倒予防」を楽しく実施。</p> <p>【実施内容等】 地域で活躍している「おまめアップチーム」の方を講師に実施。初めて参加される方がいても、参加者同士で声を掛けあいたすけあう姿が見られている。また、認知症やMC Iの方が参加していても、お互いが声をかけあい、一緒にステップを踏む等自然に行動ができるようになっている。毎回皆笑顔で帰られている。</p>	第2木曜日・全12回

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プロに学ぶ体幹エクササイズ教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 体幹を鍛えることで姿勢が良くなり、転倒予防をする。体操を始めるためのきっかけ作り。</p> <p>【実施内容等】 現役のスポーツジムの先生から、体幹を鍛えることの大切さや運動の方法を学んだ。正しい姿勢を取ることや正しい歩き方をすることで、体の負担を減らせることなどをクイズ形式にして、楽しみながら体を動かすことを学んだ。ロコモで毎回、新しい方が参加を希望され、体操を始めるきっかけ作りになればと参加してもらった。</p>	平成29年8月21日・9月4日・9月18日の全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自宅でできる体幹トレーニング	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 ケアプラザまつりの一環。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザまつりに来た誰もが参加でき、様々な年代の人も気軽にできる運動を学んだ。参加したことで、運動に親しむきっかけが作れたり、これから来る寒い時期の運動不足を解消できるような内容であった。</p>	平成29年11月18日(土)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末年始の体幹エクササイズ教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 忙しい年末年始も、転倒などを気にしないで動ける体づくりを実施。</p> <p>【実施内容等】 前回、好評であった教室の開催を望む声が聞かれたことや、12月・1月・2月は体を動かす機会が減るため体操教室を実施。前回に比べ男性の参加者も増えた。</p>	平成29年12月4日・12月18日 平成30年1月15日・2月5日の全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロコモ予防教室 @いきいき会館	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 ケアプラザに来る事が困難な地域に住む方を対象に、行きやすい町内会館で体操教室を開催。</p> <p>【実施内容等】 日吉本町西町会の町内会館をお借りして、ロコモ予防を実施。ロコモ予防の運動の実施のほか、高齢期に必要な栄養の話を地域の企業から、口腔ケアの話を歯科衛生士から学んだ。少人数であったことで、個別に指導してもらいことができ、みんな満足された様子であった。</p>	平成30年3月14日・23日・28日の全3回

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症カフェ	<p>【対象者】 認知症の方とその家族、地域の方どなたでも</p> <p>【目的】 認知症になっても、地域で暮らせるまちづくりをめざし、認知症への正しい理解と予防についてお茶を飲みながら理解を深める。</p> <p>【実施内容等】 地域のボランティア団体や地域のボランティアの方々、地域の介護保険事務所、社協などととも担当エリア内で2か所、プレ開催をした。事前の申し込みは少なかったが、どちらも多くの方に参加していただいた。来年度は定期開催予定。</p>	下田メモリー カフェ・平成29年12 月15日 にっこにこカフェ 平成30年1月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セルフボディケア教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 地域の居場所になっている日本家屋での体操教室を実施。</p> <p>【実施内容等】 日本家屋では、畳の上での体操を実施。参加者は高齢者だけでなく、地域の居場所を利用している親子連れも参加され、多世代交流をしつつ若い世代へは、セルフケアを、高齢者には庭の飛び石や上り框などを安全に利用し続けるための体づくりの方法や体操を学んだ。</p>	平成30年3月1日・3 月15日の全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転倒骨折予防教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 担当エリアで相談が多くなっていた転倒・骨折の予防をするため開催。</p> <p>【実施内容等】 セルフボディケアの講師に依頼。上半身のトレーニングを3種類、下半身のトレーニングを3種類実施。簡単に覚えられ、継続できる体操の内容であり「毎回何回やった」とかの報告が聞かれ、継続できる内容であった。</p>	平成30年2月19日・ 3月5日・3月19日の 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のそろばん教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 子どもの頃に経験した「そろばん」での認知症予防ができることを学び、認知症予防の一助としてもらう。</p> <p>【実施内容等】 他区で珠算塾の講師に迎え実施。子どもの頃やっていた等の話をしながら、計算問題を実施した。認知症の方も参加していたが、楽しそうにそろばんを行っていた。男性も多数参加した。</p>	平成29年6月15日 (木)

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療連携支援事業	<p>【対象者】 エリア内のご利用者を担当するケアマネジャー</p> <p>【目的】 ケアマネジメントを行う際の医療問題に関して、医師から助言を得る機会とし、今後のケアマネジメントにいかしていく。</p> <p>【実施内容等】 毎月第2・4火曜日13:00から、ケアプラザ協力医の相談時間を地域のケアマネジャー向けに開放し、ケアプランについての相談・助言を受けている。予約制で1回10～20分程度としている。最近は1回1～2組程度。 サービス担当者会議開催支援としても利用可としている。</p>	毎月第2・4火曜日 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケアカンファレンス	<p>【対象者】 区内介護支援事業所に在籍するケアマネジャー</p> <p>【目的】 ケアマネジャーの資質向上に向けた支援</p> <p>【実施内容等】 ケアマネジャーの資質向上を目指し、研修会を区内包括合同で企画・開催。（今年度はMSW・訪看との懇談会、アルコール依存症の方への支援についての研修会を実施） また研修を通じて、情報提供（介護保険業務・介護保険外サービス・地域の情報等）を行った。</p>	9 / 20 2 / 14

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報紙「下田地域ケアプラザからのお知らせ」発行	<p>【対象者】 地域住民向け</p> <p>【目的】 各種事業の周知や情報伝達など</p> <p>【実施内容等】 下田地域ケアプラザ事業の周知や地域包括支援センターからの福祉制度に関するお知らせの掲載。各自治会町内会や関係機関などへ配布。（年間22, 632部発行）</p>	毎月1回発行

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉体験学習	<p>【対象者】 主に地元の中学生向け</p> <p>【目的】 公的施設の役割として、中学生にケアプラザでの業務内容・必要性を実際に見て、学んでもらい、社会人として自立する将来に向け、職業選択の一助としてもらう。（2年生）</p> <p>【実施内容等】 デイサービスにて、利用者の傾聴や作業等に参加。</p>	日吉台中学校 7 / 5・6 高田中学校 9 / 10・11 日吉台西中学校 9 / 28・29

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
下田小学校5年生デイサービス交流会	<p>【対象者】 下田小学校5年生</p> <p>【目的】 様々な取り組みを通じて、世代間の交流を図り、地域ケアプラザの役割等の理解も深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 デイサービス利用者との交流を毎年実施。下田小学校5年生がクラスごとに参加し、合唱など様々な取り組みを利用者と一緒に行う。</p>	9/25・28・29

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主任ケアマネジャー研修	<p>【対象者】 区内居宅介護支援事業所に在籍している主任ケアマネジャー</p> <p>【目的】 主任ケアマネジャーとしての資質を向上し、事業所内での他のケアマネジャー支援、事業所の枠を超えた顔の見える関係を作り、連携を図り今後の活動に活かす。また研修を通じて更新研修に必要な要件を満たすために企画。</p> <p>【実施内容等】 主任ケアマネジャーの資質向上のための研修会を企画。また、包括合同企画にも参加してもらう。</p>	5 / 25 他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
包括レベル地域ケア会議 専門職と地域のネットワーク構成分科会	<p>【対象者】 地域住民と地域に関わる福祉保健関係者</p> <p>【目的】 地域包括ケアシステム構築のため。</p> <p>【実施内容等】 日吉地区を6地区に分け、昨年からの継続で残り、2地区の懇談会を行う。</p>	7 / 13 日吉本町地区 11 / 30 下田地区 3 / 14 箕輪地区

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者教室	<p>【対象者】 地域で家族の介護に携わっている方など</p> <p>【目的】 虐待防止、権利擁護事業における養護者支援の一環として、また地域で暮らす高齢者の施設への理解を深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 サービス付き高齢者住宅の料金体系や制度上の位置付けに関する説明をし、有料老人ホームとの違いや選び方のポイント等を紹介。</p>	平成29年9月14日

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域ケアカンファレンス (介護保険外サービスの解説)	【対象者】 区内介護支援事業所に在籍するケアマネジャー 【目的】 ケアマネジャーの資質向上に向けた支援 【実施内容等】 包括的継続的ケアマネジメント実現のため、「介護保険外制度内容について」をテーマに実施。区内の包括との合同開催。	平成29年6月14日

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

欄が足りない場合は、シートごとコピーして使用してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ロコモ予防教室@ いきいき会館(全3回)	①地域の方	5,500	地活					
			包括				500	¥5,000
	②延べ25名		介護	5,500				
	③無料		生活					
認知症カフェ (2か所で実施)	①地域の方	8,298	地活		4,000			
			包括				8,298	
	②53名		介護	4,298				
	③無料		生活					
セルフボディーケア教室 (全2回)	①地域の方	10,000	地活					
			包括					¥10,000
	②21名		介護	10,000				
	③無料		生活					
転倒予防教室(全3回)	①地域の方	20,114	地活					
			包括			13,364		6,750
	②延べ81名		介護	20,114				
	③無料		生活					
大人のそろばん教室	①地域の方	事務費	地活					
			包括	事務費				事務費
	②31名		介護					
	③無料		生活					
医療連携支援事業	①地域のケアマネジャー	事務費	地活					
			包括	事務費			協力医謝金	事務費
	②延べ30件		介護		¥0			
	③¥0		生活					
地域ケアカンファレンス (単館)	①委託先介護支援事業所	事務費	地活					
			包括	事務費				事務費
	②延べ20名		介護		¥0			
	③¥0		生活					
地域ケアカンファレンス (介護保険外サービスの 解説)	①区内介護支援事業所	818	地活					
			包括	818				818
	②延べ100名		介護					
	③¥0		生活					
包括レベル地域ケア会 議 (専門職と地域のネット ワーク構成分科会)	①地域の福祉保健関係	2566	地活					
			包括	2566			2566	
	②延べ45名		介護					
	③¥0		生活					
介護者教室 (介護施設の選び方)	①地域の方	168	地活					
			包括	168				168
	②14名		介護					
	③¥0		生活					
主任ケアマネ研修	①区内介護支援事業所	2,216	地活					
			包括	2,216			2,216	
	②延べ50名		介護					
	③¥0		生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					